

別記

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	関西大学 社会安全学部 菅原慎悦
② 立候補の理由と 抱負 (400字程度)	本学会の理事に立候補するに当たり、リスク学の重要な存立基盤である人文 学・社会科学と工学・技術分野との架橋に貢献したいと考えている。立候補者 は、大学の教養課程にてフランス哲学等に浸った後、“理転”して都市工学・原 子力工学を学んだ、稀有な専門性を有している。原子力事故や COVID-19 をは じめ、現代社会における様々なリスクに向き合う上では、文理の知見の総合が 一層求められている一方、リスク学の内部でも、関連学術分野間の相互作用が 未だ十分に実現されていないとの批判もある。「リスク」をめぐる、より実りあ る学際的な議論と実践の深化に向けて、立候補者の知見・経験を活用してい きたいと考えている。加えて 2020 年度からは、本学会の広報担当理事として、 会員サービスの充実や過去のニュースレター等のアーカイブ化に取り組んで おり、これらの活動をぜひ継続的に実施していきたい。
③ 本学会における 活動歴	2014 年に入会して以来、原子力分野のリスク・インフォームド意思決定、災害 リスク管理等に関する研究発表を継続的に実施してきたほか、レギュラトリ ー・サイエンスタスクグループでの意見交換や議論、COVID-19 関係の議論や 翻訳にも積極的に参加している。2019 年度には奨励賞を受賞した。2020 年度 からは本学会の理事を務め、主に広報関係の活動を行っている。
④ 研究歴・職歴等 (100字以内)	2012 年 3 月、原子力工学の大学院を修了後、(一財)電力中央研究所に 7 年半 ほど勤務し、主に原子力発電所のリスク評価・管理・コミュニケーションに関 する研究と実践に従事。2019 年 9 月より関西大学社会安全学部准教授。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	菅原 慎悦 氏
② 推薦者の 姓名と所属	米田 稔 (京都大学)
③ 推薦理由 (400字程度)	候補者の菅原慎悦氏は、文系から理系に移行し、原子力工学を修めた異色の 経歴の持ち主で、原子力分野のほか災害リスク管理やレギュラトリーサイエン スの議論などにも積極的に関わって来られた。幅広い分野の総合性が求められ るリスク学にとって貴重な人材の一人といえる。また、2019 年度には奨励賞を 受賞するとともに、2020 年度からは本学会の理事として若手の視点から広報 関係の活動を行っており、引き続き活動を展開していただくことが期待され る。